

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	障害児通所支援事業所すばる（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日		令和6年12月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 14名	(回答者数) 14名	14
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日		令和7年12月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 7名	(回答者数) 7名	
○事業者向け自己評価表作成日	8年 3月 24日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	■小集団という環境の為、個々の特性に合わせた、きめ細やかな支援が可能である。	■小集団を生かした活動プログラム（季節を取り入れた工作・レク・体を使った活動）等の年間計画をたて実施。個々の特性に配慮した支援を行う事で、出来る事を増やすだけでなく、対応方法を見つけ学んでいく取り組みを行っている。	■山形村社会福祉協議会のサービス（障害者の就労）との交流の回数を増やして行きたい。
2	■専門的知識を用いた（PT・OT）が支援に関わっている。	■月に2回程度職員の会議を設け、個々の支援課題に対しての支援内容の設定と評価を繰り返し行い、本人の状況に合わせた細やかな支援が行えるように取り組んでいる。	■理学療法士（PT）の専門的なアプローチによる支援を取り入れていきたい。
3	■法人内に多様な福祉サービスがあり、世代間交流等しやすい環境である。	■山形村社会福祉協議会のサービス（デイサービス・小規模多機能）を生かし、お年寄りとの交流を行っている。	■障害者、高齢者との交流や、ボランティア等の地域の方との交流の場を増やしていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	■走り回ったり、大きく体を使った活動を行う時難しさがある。	■活動スペースが小集団に適した空間の為、大きく活発に体を動かす活動には対応が難しい時がある。	■長期休暇など利用時間が多い時は、大きな空間が使えるよう配慮し、活発な活動ができるよう工夫している。今後も活動に応じ、臨機応変対応し継続していく。
2	■支援級や、特別支援学校を利用していない児童も含め、同世代の児童との関わる機会が少ない。	■個々の特性や、多い人数、慣れない場所や人に対するの難しさがある様子から、他の同世代のお友達と関わる事への難しさがある。	■特性に配慮しながら、児童館等と連携し、関わりを持つ機会を持っていく。
3			